

まちづくりのありまし 市政の方針と予算の概要

田中市長は第一回市議会定例会に本年度のまちづくりの根幹となる予算案を提出し、市政の方針を述べました。これを受け同定例会では、予算案などについて活発な議論が繰り広げられました。今月は、同定例会で審議された本年度の予算と市政・教育行政の執行方針の概要をお知らせします。



市政の方針

深川市長 田中昌幸

近年の世界情勢は、地政学的な緊張の高まりや経済の不安定化などにより大きく変動しており、その見通しの不確実性や不透明さが高まっている状況です。

また、本市の財政状況については依然として厳しい状況の中で、引き続き健全財政を堅持しつつ、課題解決のため重点的な施策の実施により市政運営を進めてまいります。以下、本年度の主要課題や重点施策などについて説明します。

1 地域の人材と学びの拠点づくり

本市を担う人材の育成や確保が重要であり、加速する人口減少を緩和することが重要となっています。首都圏などでの移住相談会への出展やオンラインを活用した移住セミナーの開催など、移住・定住事業を推進するとともに、若い世代の婚姻に伴う経済的負担の軽減を図るため「結婚新生活支援事業」による支援を継続していきます。

地域産業を担う人材の確保を目的に、奨学金の返還支援や地域おこし協力隊の積極的な受け入れなど、将来にわたり地域を支える生産年齢人口の拡大につなげていきます。

第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「本市の魅力を発信し、ひとを呼び込む」ことを目的に推進する保育園留学については、未就学児や小学生を育てる都

3 安全と安心な暮らしを支える体制の充実

人口減少が進む中で、生活機能を維持・向上させるため、防災・減災対策や生活インフラの維持をはじめ、地域の安全・安心を確保するための取り組みを進めます。

管理されていない空き家の発生抑制と地域への人材定着を図るため、空き家を活用して起業を目指す地域おこし協力隊を導入します。

災害時における避難所での生活環境を改善するため、避難所指定の公共施設へのエアコン設置を計画的に進め、避難時の安全・安心の確保につなげます。

冬期の円滑な交通確保に向けては、市直営で使用している老朽化した大型ロータリ除雪車を更新し、除排雪体制の維持強化と作業の安定性・効率向上を図ります。

ヒグマが日常生活圏に出没した際には、関係機関・団体と緊密に連携し、地域住民の安全を最優先に、迅速かつ適切に対応します。

物価高騰対策の一環として、市内で水道を使用する家庭および事業者に対し、水道料金の基本料金を6カ月間半額減免し、暮らしと事業活動の継続を支援します。

深川消防署において、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車や可搬消防ポンプ積載資機材搬送車を更新し、災害対応力を強化します。

4 人と環境にやさしい社会の形成

気候変動への対応や脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の低減に向けた取り組みを進めるとともに、資源循環や省エネルギーの推進など環境に配慮したまちづくりを進めます。

また、市民一人ひとりの暮らしや健康、安心に目を向けた取り組みを重ね、自然環境と調和した人にやさしい社会の形成を図り、多様な人が互いを尊重し、支え合いながら暮らせる地域づくりを行い、将来にわたって選ばれ続けるまちを目指します。

ゼロカーボンの推進については、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティふかがわ」の実現に向け、令和7年度に策定した「深川市再生可能エネルギー導入ビジョン」で示した地域に根ざしたエネルギー政策の方向性を踏まえ、温室効果ガス排出削減を体系的に推進するとともに、

市全体の削減目標を定める「深川市地球温暖化対策実行計画」【区域施策編】の策定に取り組みます。電気自動車を導入し、脱炭素化と環境負荷の低減を図るとともに、災害時には移動型の非常用電源として活用できる体制を整え、防災力向上につなげます。

森林整備促進事業については、私有林の整備支援や幼児に木製積み木を贈呈する「ウッドデビュー推進

市部の現役子育て世帯をターゲットに、1〜2週間子どもを本市内の保育園や小学校、学童で受け入れる「こども主役の暮らし体験プログラム」を本格運用し、子育て環境や地域とのつながり、暮らしやすさなど本市の魅力を感じいただき、中長期的な関係人口の創出を図ります。

複合施設「深川市まちなか交流施設」の施設愛称を「ふかふか」に決定し、11月の供用開始に向けて整備を進め、世代間交流や人材育成を推進する中核拠点として運営していきます。

市内の高校については、公立高等学校の魅力づくり支援事業により、公共交通の縮小に伴い増加している通学費に対する助成を拡充します。

深川東高等学校が空き教室を活用して新たに取り組む、植物の屋内施設栽培に対して支援を行うとともに、学校と地域、企業などをつなぐ役割を担う学校コーディネーターを同校に配置し、探究学習の企画支援やPRの強化など、学校の魅力向上に取り組みます。

昭和41年の開学以降、本市の発展に向けて共に歩んできた拓殖大学北海道短期大学は、本年度をもって閉学しますが、在学生が安心して学び続けるための環境づくりの取り組みを継続し、閉学後も同短期大学が有する教育資源が持続的に活用されるよう働きかけます。

2 デジタル・スマートシティの推進

デジタル技術は行政サービスの質の向上や地域課題の解決に大きく貢献するため、デジタル技術を活用し、住民の利便性を高めるとともに、効率性かつ効果的なサービスを提供できる体制づくりを進めます。

市役所代表電話に、常時間問い合わせ対応が可能な自由対話型のAI電話を導入するとともに、住民税の算定時に給与支払報告書の読み取り作業の自動化が可能となる機器を導入し、市民の利便性向上と職員の業務効率化を図ります。

市道の除排雪業務の効率化については、令和7年度よりデジタル技術を活用した専用ダイヤルを実証実験として開設しており、今後も雪国における快適な生活環境づくりに向け、迅速・効率的な除排雪体制の構築を検討していきます。

水道料金や下水道料金などの一部公金の納付については、地方税統一QRコードを活用した決済方式を導入し、納付者の負担軽減と手続きの簡素化を図るなど、便利で柔軟なサービスを実現します。

路線バスについては、利用者数の減少や乗務員不足などにより廃線が相次いでいる現状を踏まえ、AIによる最適配車で効率的な運行が可能となるAIデマンド交通を導入し、地域公共交通の構築を図ります。

事業などを継続し、幼少期から木に親しむ機会を創出します。

家庭から出るごみの減量を目的とした生ごみ処理機購入助成の拡大や環境に優しい取り組みを展開する企業との連携など、環境負荷の低減と地域経済の活性化の両立に努めます。

読書活動推進事業として、0歳

児に布絵本を贈る「ブックスタート事業」に続き、小学1年生を対象に、成長に合った本を贈る「ブックセカンド事業」を新たに実施します。

学校図書館の活用支援を行うとともに、学校を核として地域連携による読書活動を進める「読書活動支援員」を配置し、学校と地域が一体となり読書環境を充実させます。

令和8年度各会計予算

| 項目 | 令和8年度 予算額 | 令和7年度 当初予算額 | 増減額 | 増減率 | |
|------|--------------|----------------|------------|------------|-------|
| 一般会計 | 201億6,000万円 | 196億3,000万円 | 5億3,000万円 | 2.7% | |
| 特別会計 | 介護保険 | 24億6,560万円 | 24億2,800万円 | 3,760万円 | 1.5% |
| | 国民健康保険 | 27億7,600万円 | 29億3,200万円 | △1億5,600万円 | △5.3% |
| | 後期高齢者医療 | 5億2,600万円 | 4億6,900万円 | 5,700万円 | 12.2% |
| | 計 | 57億6,760万円 | 58億2,900万円 | △6,140万円 | △1.1% |
| 企業会計 | 水道 | 9億4,660万円 | 8億2,410万円 | 1億2,250万円 | 14.9% |
| | 下水道 | 15億9,020万円 | 16億4,980万円 | △5,960万円 | △3.6% |
| | 病院 | 69億9,058万円 | 58億8,581万円 | 11億477万円 | 18.8% |
| | 計 | 95億2,738万円 | 83億5,971万円 | 11億6,767万円 | 14.0% |
| 合計 | 354億5,498万円 | 338億1,871万円 | 16億3,627万円 | 4.8% | |

福祉・健康・医療に関する分野

関係人口創出に向けた取り組み② 1,697万円

【保育園留学事業・小学生留学事業 1,697万円】
都市部などの子育て世帯向けに、1～2週間の保育園や学校の受け入れ体験を実施し、本市の暮らしや魅力を実感してもらい、関係人口の創出につなげます。

子育て世帯に対する支援の充実① 50万円

【乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度) 50万円】
生後6カ月～満3歳未満までの保育所や認定こども園などに通っていない子どもを対象に、1カ月当たり10時間まで保育所などを利用できる制度を導入します。

保健衛生(環境・清掃・水道・病院)

- ◎市立病院において良質で安定した医療サービスを提供するための運営経費 69億9,059万円
- ◎休日・夜間救急医療体制の維持・確保 4,429万円
- ◎がん検診の実施 1,555万円

ゼロカーボンシティふかがわの実現に向けた脱炭素の取り組み 1,432万円

【地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定 594万円】
再生可能エネルギー導入ビジョンを踏まえ、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定します。

【電気自動車(EV)導入 838万円】
電気自動車(EV)を導入し、脱炭素化と環境負荷の低減を進めるとともに、災害時における移動型の非常用電源の確保を図ります。

社会福祉・障がい者福祉・子育て

- ◎外国人介護人材を受け入れた法人等に対し、経費の一部を支援 150万円
- ◎介護に従事する人材の確保および地域社会の介護力の向上を図る 172万円
- ◎関係事業所と連携し、障がい福祉サービスを提供 6億9,779万円
- ◎住宅の取得や賃貸、引っ越し経費を助成し、若年層の結婚新生活を支援 120万円

経済・産業に関する分野

商工・観光

- ◎ふるさと納税の推進とともに、コメや加工品などの返礼品を有効活用した地場産品PR 5億円
- ◎企業や商店の経営安定と経営体質強化のため、支援事業を推進 2億2,805万円
- ◎企業誘致活動の推進と既存企業の支援 5,103万円
- ◎中心商店街のにぎわい創出に向けた取り組みなどの支援 405万円
- ◎道の駅「ライスランドふかがわ」の満足度向上のためキャンペーンの開催経費など 3,516万円
- ◎観光知名度の向上と観光客の誘客に向け周辺自治体と連携した広域観光の推進 2,138万円

労働

- ◎中小企業で働く労働者の生活の安定と福祉の推進を図るため、臨時かつ緊急に必要とする資金を融資 604万円

農林業

- ◎多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援として、日本型直接支払事業を有効に活用 6億9,455万円
- ◎本市の基幹産業である農業の担い手を確保・育成し、優良農地の円滑な継承を推進するため設立した農業法人「株式会社深川未来ファーム」の運営支援 2,750万円
- ◎農作物被害の防止を目的とした有害鳥獣の捕獲やその個体を適性に処理する施設の運営 3,638万円
- ◎間伐等の森林整備や乳児に積み木を配布するウッドデビュー推進事業などを実施 4,021万円
- ◎農産物の高品質化や生産体制の整備、農畜産物の消費拡大を推進し、安定した農業経営を支援 1,050万円

重点事業・主要施策の概要

令和8年度予算の重点事業・主要施策の概要と該当する予算額などを抜粋してお知らせします。

～問合せ～

- ▶市政の方針…まち未来推進課企画係(☎番窓口/☎26-2246)
- ▶教育行政方針…学務課管理係(☎番窓口/☎26-2332)
- ▶予算について…税務財政課財政係(☎番窓口/☎26-2622)

快適な生活基盤の構築に関する分野

複合施設整備事業の推進

11億3,585万円

まちなか交流施設「ふかふか」の11月の供用開始に向けて建設工事や開設準備などを進めています。

- 建設位置 1条8番
- 敷地面積 6,017.85㎡
- 延床面積 2,665.34㎡
- 階数 地上3階
- 構造 鉄筋コンクリート造
- 駐車場 42台

公共交通の確保・再構築 6,273万円

【留萌線代替交通(きたそライナー)の運行 3,873万円】
3月31日をもって全線廃止となった「留萌本線」の代替交通の運行を開始します。

【AIデマンド交通の導入 2,400万円】
利用者の予約に応じて運行を最適化するデマンド交通を導入し、誰もが利用しやすい移動手段の確保を図ります。

土宅・住宅

- ◎都市基盤である道路網や橋の整備 6億4,097万円
- ◎住宅の新築や省エネ改修工事、耐震改修などの費用の一部を助成 2,200万円
- ◎市営住宅(芙蓉団地)の耐久性向上を図るため、屋上防水改修と外壁塗装を実施 7,379万円
- ◎冬期間の快適な生活環境を確保するため、除排雪作業を効率的に実施 6億325万円

関係人口創出に向けた取り組み① 2,296万円

【移住定住推進事業 1,854万円】
都市部からの人の流れを創出し、移住・定住につながる循環をつくることを目指し、移住支援員によるワンストップ移住相談や移住体験事業を実施します。

【空き家起業型地域おこし協力隊の設置 442万円】
管理されていない空き家の発生抑制と地域への人材定着を図るため、空き家を利活用して起業を目指す地域おこし協力隊を募集します。

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車および可搬消防ポンプ積載資機材搬送車の更新 9,308万円

【災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の更新 6,847万円】
消火活動のほか、さまざまな災害に対応が可能な消防ポンプ自動車を更新します。

【可搬消防ポンプ積載資機材搬送車の更新 2,461万円】
地域防災に幅広く対応可能な消防ポンプ積載資機材搬送車を更新します。

市役所運営等

- ◎「地域活性化起業人制度」を活用し、民間企業の専門知識やノウハウなどを生かし、本市の課題解決に取り組みます。 560万円

学校教育においては、子どもが主体となって学んでいるか、子どもが他者と協働しながら学んでいるか、子どもが将来必要となる資質や能力まで見据えて学んでいるかなど、全ての教育活動で「子どもが主語」を実現する教育が求められています。

また「人生100年時代」を迎えた今、全ての人が生涯にわたり意欲的に、楽しく学び続けることができる社会の実現に取り組むことが重要です。

こうした認識のもと、本市の学校教育や社会教育などの充実に向けて、令和8年度における教育行政の推進に係る主要施策について申し上げます。

【主要施策の概要(抜粋)】

《学校教育の充実》

- ・児童生徒が主体的に学習する習慣の定着を図るとともに、家庭学習でクラウドを活用した予習・復習など、授業と家庭学習がつながる取り組みを行います。
- ・読書習慣の定着を図るため、児童生徒などの学校図書館の活用支援や、地域と連携した読書活動を推進する「読書活動支援員」を新たに配置します。
- ・体力の向上を推進するため、運動に親しむ機会を増やします。
- ・普通学級で学校生活での支援が必要な児童生徒が増加しているため、特別支援教育支援員を増員し支援の充実を図るとともに、教育的支援を必要とする生徒への支援を充実するため、一已小学校の通級指導教室による一已中学校への巡回指導を開始します。
- ・安心して通学できる環境を確保するため、老朽化し

たスクールバスを更新します。

- ・学校給食費について、小学校は全額無償化を実施し、中学校は4月から9月までの半年間の無償化を継続、幼稚園の副食費は、全額無償化を継続します。
- ・公立高校の魅力づくりのため、通学交通費の助成を拡充するとともに、深川東高等学校が新たに取り組む、植物の屋内施設栽培を支援します。
- ・北新小学校と一已小学校の令和9年4月の統合に向け、スクールバス通学の実現と両校の交流授業の実施、閉校記念事業の支援を行います。

《社会教育・文化・スポーツの推進》

- ・市職員が講師として出向く「出前講座」を実施するなどして、いつでも・どこでも・だれでも自由にできる学習機会の提供に努めます。
- ・読書活動を推進するため、小学1年生を対象とした「ブックセカンド事業」を実施します。
- ・「家庭教育・学社融合推進事業」や「学校支援地域本部事業」などにより、家庭・地域教育を充実させます。
- ・子どもの自主性や自発性を養うため、リーダー養成事業を実施など青少年育成の推進に取り組みます。
- ・優れた芸術に触れる機会を小中学生に提供するため「アウトリーチ(芸術家派遣)事業」に取り組みます。
- ・有形・無形文化財のPRに努めるとともに、文化財の保存と活用に取り組みます。
- ・東京マラソン財団との共催によるランニングイベントの実施や合宿招致活動など、特色あるスポーツ振興に取り組みます。
- ・部活動の地域移行について、引き続き協議します。

人材育成と教育・文化・スポーツに関する分野

子育て世帯に対する支援の充実② 40万円



【ブックセカンド事業 40万円】
小学1年生を対象に、成長に沿った本を贈り、児童の読書習慣の促進と論理的に考える思考力や想像力を育みます。

私立学校振興等

- ◎私学振興として、拓殖大学北海道短期大学に在学する学生が安心して学び続けられる環境づくりやクラーク記念国際高等学校の地域との交流促進などの取り組みを支援 1,741万円

学校・生涯学習・文化スポーツ

- ◎北新小学校と一已小学校の統合に向けた交流授業の実施や閉校記念事業を支援 795万円
- ◎読書習慣の定着を図るため、読書活動支援員を配置 527万円
- ◎市内公立高等学校の入学確保と教育環境の向上を図るため、魅力ある学校づくりを支援 1,589万円
- ◎児童生徒の学力向上を図るため、放課後教室や夏期休業中の学習支援を実施 330万円
- ◎文化芸術およびスポーツのレベル向上と振興を図るため、全国・全道大会に参加する市民に対して助成 319万円
- ◎各種スポーツ合宿を招致し、本市の知名度向上と活力あるまちづくりを推進 944万円
- ◎生涯学習社会の実現のため、各公民館において幅広い年齢層に対応した事業の充実を推進 121万円

その他行政サービスに関する分野

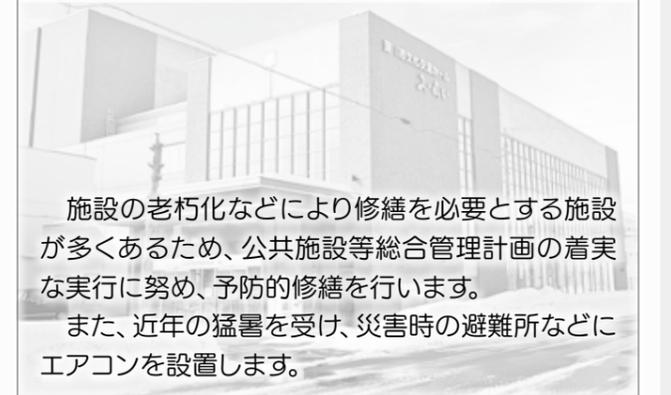
自治体DXの推進 1,458万円

【eL-QRを活用した公金収納 966万円】
水道料金などの公金の一部について、クレジットカードやスマートフォンアプリなどによる支払いを可能にします。

【AI電話の導入 436万円】
市役所代表電話に、常時間問い合わせ対応が可能な自由対話型のAI電話を導入し、市民の利便性向上と職員の業務効率化を図ります。

【AI-OCRによる給与支払報告書処理 56万円】
各事業所から提出される給与支払報告書の入力業務を自動化し、質の高い市民サービスの提供を実現します。

公共施設の計画的な修繕及びエアコン設置 6,898万円



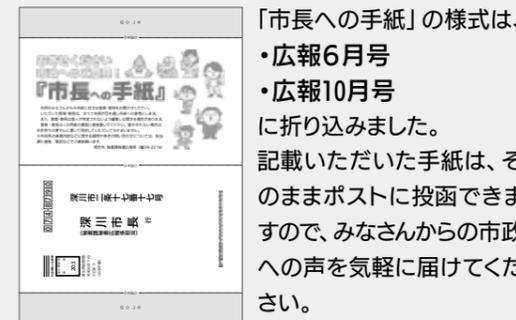
施設の老朽化などにより修繕を必要とする施設が多くあるため、公共施設等総合管理計画の着実な実行に努め、予防的修繕を行います。
また、近年の猛暑を受け、災害時の避難所などにエアコンを設置します。

令和7年度 市長への手紙集計

令和7年度中に、みなさんから市に寄せられた「市長への手紙」は50通で、内容にすると61件となりました。「市長への手紙」は、市長が全てに目を通し、担当課を通じて対応や改善を図りました。中には、匿名の方や連絡先や内容が不明なものもあり、回答できない場合がありますが、みなさんからの意見は、今後の市政に生かしていきます。

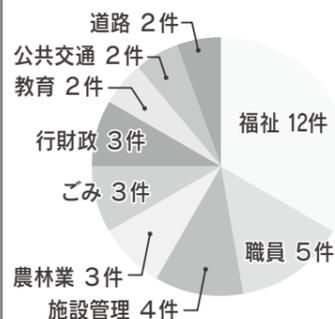
意見・情報・アイデアなど

- 【手紙やハガキ】〒074-8650 深川市2条17番17号 深川市長あて 【電話】26-2216 【ファクシミリ】22-8134
- 【電子メール】kouhou@city.fukagawa.lg.jp
- 【みんなの声ポスト】市役所1階ロビー
- 【直接窓口】秘書課秘書広報係へ

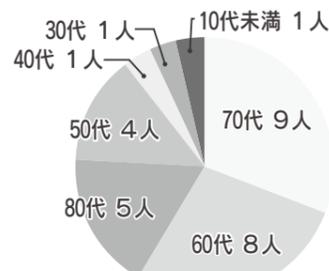


「市長への手紙」の様式は、
・広報6月号
・広報10月号
に折り込みました。
記載いただいた手紙は、そのままポストに投函できますので、みなさんからの市政への声を気軽に届けてください。

内容/上位9項目



年代/不明を除く



さらに多くの事業を紹介!
わかりやすい予算書はこちら

市の予算を分かりやすく説明した令和8年度予算説明書「深川市の今年のごと」を市役所と各支所で閲覧できます。また、希望する方に配布しますので税務財政課財政係に連絡してください。市ホームページにも掲載しています(「深川市の今年のごと」で検索してください)。

